

### 5. 気象・道路情報の一元化、利用者への情報提供の課題

きめ細やかな情報提供が必要

雪寒事業では、気象情報装置の設置や携帯電話、インターネットやVIC S などの様々な媒体を活用した気象・道路情報の提供を行っている。

今後も、積極的な新技術の導入を図り、道路利用者が行動を判断できる、よりきめ細やかな情報提供を推進することが必要である。

広域的な気象・道路情報の一元化が必要

気象・道路情報の提供は、道路管理者毎に行われており、情報提供の一元化が進んでいないため、道路利用者はone stopで情報を入手できない状況にある。

道路管理者の管理区分に依らない情報の提供が必要であり道路管理者間の情報連携、情報の一元化が必要である。

VIC S (Vehicle Information and Communication System)  
「道路交通情報システム」の略。道路交通情報通信システム。渋滞・規制・道路案内・駐車場などの道路交通情報を車載器へリアルタイムに提供するシステム。

### きめ細やかな情報提供が必要



道路情報板



道路情報ターミナル



VIC S



インターネット



Iモード

図34 きめ細やかな情報提供

### 広域的な気象・道路情報の一元化が必要

#### Column

#### ～ホームページによる冬期道路情報の提供事例～



高山国道事務所のホームページ

#### 凍結情報

高山国道事務所では、冬期の路面の凍結や積雪に関する情報など道路利用者のニーズに合致した情報を提供することにより、国土交通省の全国の国道事務所の中で、第1位のアクセス数となった(H14年度)。



出典：北陸中日新聞（金沢）平成13年1月19日

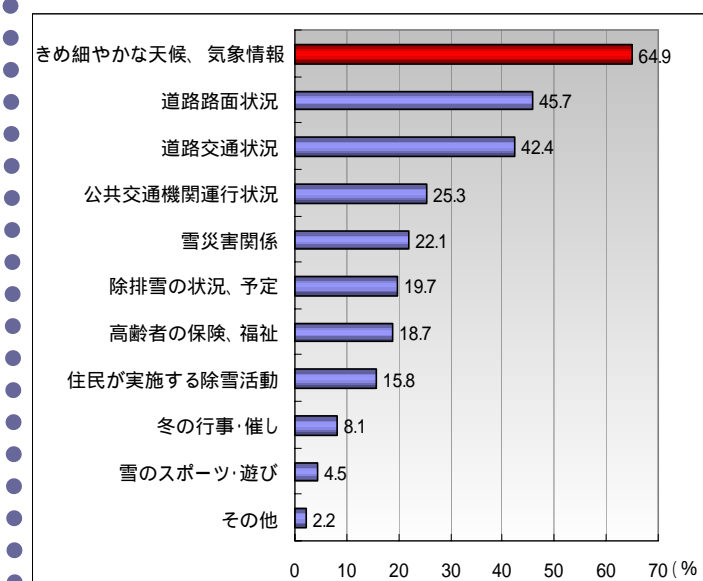


図35 必要とする雪に関する情報

資料：H13年富山県総合雪計画